

# GREEN

## Rader

全農長野県本部情報 グリーンレーダー

2025  
12  
Vol.559



### 重点事業方針

A-Policy

## 生産販売部 営業課の取り組み

### A-Reports

- |                                                          |   |                                               |    |
|----------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------------|----|
| ・「第16回全日本ホルスタイン共進会」長野県代表牛健闘                              | 2 | ・安曇野特産「サンふじ」のトップセールスを開催                       | 8  |
| ・「長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」開催                            | 3 | ・JAあづみ×松本洋菜×松本山雅FC60周年<br>松本山雅FCホームゲームでイベント開催 | 8  |
| ・JA長野県農業機械推進優秀者表彰式を開催<br>県内30名のJA農機担当者が受賞                | 4 | ・長野県農協直販㈱「佐久食肉工場」が開所                          | 9  |
| ・第78回長野県畜産共進会(肉豚の部)<br>～JA松本ハイランドの宍岩垂原エスピーエフ農場が特別優秀賞を受賞～ | 5 | ・「虹の花束コンサート2025」開催                            | 9  |
| ・テレビ信州「キッズRUN!!2025」に協賛                                  | 5 | ・今月のおすすめレシピ                                   | 10 |
| ・第78回長野県畜産共進会(種牛の部)<br>～農林水産省畜産局長賞にJA松本ハイランドの(有)高原牧場～    | 6 | ・12月のラジオ番組表                                   | 10 |
| ・「ナガノきのこ大祭」に出展                                           | 7 | ・編集後記                                         | 10 |
| ・11月11日は「長野県きのこの日」小学校で食育授業<br>～20校できのこメニューも～             | 7 |                                               |    |



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

## 営業課

## 生産販売部 営業課の取り組み

J A全農長野営業課では、量販店や生協だけでなく、加工・業務用実需者、カタログギフトなど様々な業態の取引先に対し、J Aの協力を得ながら既存取引品目の維持、拡大とともに新規顧客の開拓を進めています。

量販店においては、毎週行われる商談を通じて生産状況に応じた販売企画提案を行いました。また量販店での店頭試食宣伝のみならず、原料を供給をしている加工製品の消費拡大企画への協賛など、様々な消費宣伝企画を通じて消費者への長野県産農産物の訴求力アップにも取り組みました。

## ■令和7年度の重点取組事項 進捗状況

## 1. 生産者手取りの最大化に向けた営業・販売力の強化

(1) 重点取引先への対応強化  
量販店への取扱品目・供給量の拡大、総合品目供給、業務加工取引先への原材料供給拡充の実現に向け、産地との連携および情報連絡を強化してきまし

た。また、信州フェア、トラックセールなどを通じ、積極的な販売提案に努めてきました。このまま1007億円（前年対比97%）の供給実績となつていきます（10月末供給販売実績）。

## (2) 営業活動強化による新規顧客の獲得、既存取引先への供給量拡大

昨年度よりネットスーパー向けベンダーへのきのか供給を開始し、本年度は新たに野菜の供給を開始しました。今後も販売企画提案の継続・強化により取扱実績を確保するとともに果実の新規取引に向けた検討を進めていきます。

## 2. 商品開発力・提案力強化による販売拡大

(1) メーカーとの共同商品の開発  
惣菜用の原料供給に向けた商談を進めました。品目選定、規格・数量の調整を通じコンビニエンスストアとのコラボ商品の開発を進め、原料の供給を行いました。長野・山梨エリア限定の販売でした



コンビニエンスストアとのコラボ商品（ファミリーマート）

が、本県産青果物の訴求力アップにつながりました。

(2) 既存取引先への原料供給拡充  
本県産野菜を原料としているメーカー商品の消費拡大キャンペーンに協賛することにより、商品の消費拡大をすすめ原料供給量の拡大につながりました。キャンペーン効果もあり、取扱数量・金額増につなげることができました。

## 3. その他の取り組み

マーケティング情報に基づく取り組み、生産流通コスト上昇対策としての取り組みを進め、生産者手取りの最大化に向けた取り組みを進めていきます。

## ■令和7年度販売実績（10月末）

(単位：千円、%)

|           | R7供給販売高<br>(10月末) | R7計画       | 計画<br>進捗 | R6供給販売高<br>(10月末時点) | 前年<br>対比 |
|-----------|-------------------|------------|----------|---------------------|----------|
| 直 販 果 実   | 1,440,980         | 2,730,000  | 53       | 1,586,578           | 91       |
| 直 販 野 菜   | 5,215,148         | 5,530,000  | 94       | 5,197,578           | 100      |
| 直 販 き の こ | 2,140,919         | 5,200,000  | 41       | 2,279,756           | 94       |
| 直 販 花 き   | 91,898            | 121,000    | 76       | 94,736              | 97       |
| 加 工 製 品   | 196,705           | 240,000    | 82       | 135,021             | 146      |
| 直 販 そ の 他 | 221               | 10,000     | 2        | 1,688               | 13       |
| 全農市場果実    | 65,159            | 129,000    | 51       | 77,456              | 84       |
| 全農市場野菜    | 1,616,768         | 2,090,000  | 77       | 1,742,275           | 93       |
| 全農市場きのこと  | 206,283           | 460,000    | 45       | 220,265             | 94       |
| 全農市場流通花   | 1,140             | 0          |          | 1,205               | 95       |
| 分 量 振 替   | △ 312,186         | △ 510,000  | 61       | △ 319,909           | 98       |
| 計         | 10,663,034        | 16,000,000 | 67       | 11,016,648          | 97       |

畜産酪農課

# 「第16回全日本ホルスタイン共進会」 長野県代表牛健闘

（一社）ホルスタイン登録協会主催の「第16回全日本ホルスタイン共進会」が10月25日(土)と26日(日)、北海道勇払郡安平町で開催され、長野県から6頭が出場し、新海益二郎さん（JA長野八ヶ岳）のラツキーマーシュ ダーハム ユズボンが優等賞4席、その他も1等賞多数と健闘しました。

この共進会は、日本国内のホルスタイン種及びジャージー種の改良方針に沿って改良を進めている都道府県代表の種牛を一堂に集め、その水準を広く示し、もって改良増殖の推進に資し、あわせて堅実な酪農業の伸展を期することを目的に5年ごとに開催されています。今回はコロナ禍で中止となったため今年は10年ぶりの開催となり、全国各地の生産者が手塩にかけて育てた386頭の乳牛が集まりました（＝表紙左下）。

審査は、（一社）日本ホルスタイン登録協会の稲山智明部長と國行将敏部長が担当し、月齢・種ごとに第1部から20部に分けて、出品牛の体形バランス等を審査・講評しました。

審査の結果、ホルスタイン種の最高位賞には、木村吉里さん（北海道）のサニーウエイ アストロ マツカチエン、ジャージー種名誉賞には、中島めぐみさん（北海道）のエムコラボ カジノ シーングランツが選ばれました。

共進会会場までの長距離移動に加え、慣れない環境でストレスを抱えながらの出場となりましたが、長野県代表牛の活躍は目覚ましく、北海道の寒さを吹き飛ばすような活気あふれる共進会となりました。

全農長野畜産酪農課は、今後も酪農家の相互交流を深め、乳牛の改良や生産の一助となるよう努めてまいります。

長野県結果一覧（敬称略）

| 出品部  | J A名  | 出品者     | 結 果   | 名 号                 |
|------|-------|---------|-------|---------------------|
| 第1部  | 佐久浅間  | 杉山 三津枝  | 1等賞8席 | スギ FB シヤロン          |
| 第10部 | 長野八ヶ岳 | 新海 益二郎  | 優等賞4席 | ラツキーマーシュ ダーハム ユズボン  |
| 第11部 | 南信酪農  | (株)三村牧場 | 1等賞3席 | ミムラフアーム ロツクヒル パローズ  |
| 第13部 | 佐久浅間  | 小林 政幸   | 1等賞1席 | スプレンドール ハリエット ローリエ  |
| 第14部 | 佐久浅間  | 小林 政幸   | 1等賞7席 | スプレンドール クラツシヤブル アニサ |
| 第16部 | 南信酪農  | (株)三村牧場 | 2等賞1席 | ミムラフアーム ナオ コントロール   |



新海 益二郎さん（JA長野八ヶ岳）のラツキーマーシュ ダーハム ユズボン



長野県代表牛の牛床

(SS協同経営課)

## 「長野県JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」開催

長野県農協生活事業推進協議会は10月22日(水)、JAグリーン長野小島田給油所で「第47回JA-SSドライブウェイサービスコンテスト」を開催し、県内各地から選ばれた10名が出場しました。SSスタッフのカーメンテナンスなどの取り扱いのスキルアップと顧客満足度の向上が目的で、最優秀賞にJA大北・小谷スタンドの鷲澤洋人さんが選ばれました。

開会に先立ち、大会委員長のJA全農長野高木昭彦副本部長が「JA-SSは、安全・安心を提供する接客サービスを原点に、地域との信頼関係の構築と、他店との差別化が求められます。本日の大会で皆さんの日頃の取り組みをぜひ発揮してください」と挨拶しました。

選手は、スタッフが給油するフルサービスSSでの車両の迎え入れから送り出しまでの一連の流れの中で、接客時のENEOSカード・アプリなどの顧客固定化ツールの提案、ボンネット内の安全点検、カーメンテナンス商品の提案を行いました。審査員はENEOSをはじめとする外部担当者が務め、基本接客として大切な笑顔や説明のわかりやすさなどの項目と所要時間を審査しました。

全農長野SS協同経営課は、今回のコンテストが更なるサービス向上とお客様の満足度を高める機会と捉え、今後も信頼されるSSづくりに取り組んでまいります。



最優秀賞の鷲澤さん(左)

(敬称略)

| 各 賞        | J A 名        | SS名         | 氏 名   |
|------------|--------------|-------------|-------|
| 最 優 秀 賞    | 大北           | 小谷スタンド      | 鷲澤 洋人 |
| 優 秀 賞      | グリーン長野       | アグリしのいセルフ   | 宮原 奈美 |
| 優 良 賞      | 全農長野         | 中信事業所くらし支援課 | 荻原 夏菜 |
| 優 良 賞      | 佐久浅間 (株)アメック | 望月給油所       | 櫻井 美希 |
| ENEOS賞※1   | 全農長野         | 中信事業所くらし支援課 | 荻原 夏菜 |
| トレーディング賞※2 | 佐久浅間 (株)アメック | 望月給油所       | 櫻井 美希 |

※1 ENEOS賞：固定化ツール推進で特に秀でた選手を対象に表彰

※2 トレーディング賞：カーメンテナンス推進で特に秀でた選手を対象に表彰



10名の出場者と審査員など関係者

## 農業機械課

# JA長野県農業機械推進優秀者表彰式を開催 県内30名のJA農機担当者が受賞

長野県農協生産資材事業推進協議会農機専門部会は11月12日(水)、長野ホテル犀北館で「令和7年度JA長野県農業機械推進優秀者表彰式」を開催しました。この表彰は、事業計画達成に向けた提案活動強化およびJA農機担当者のモチベーション向上を目的に昨年度より始め、組合員への積極的な推進活動を展開した成績上位の30名が表彰されました(=表紙左上)。

開会挨拶で同専門部会の部会長でJAながのの服部真一経済課長は「農業機械の推進は労働力の省力化はもちろん、生産性の向上や持続可能な農業につながる。地域農業者とのつながりを大切にし、今後も提案活動をお願いしたい」と挨拶しました。

受賞者代表挨拶ではJAながのみゆき農業機械センターの大沢強さんが職場の仲間への感謝を述べるとともに「組合員の皆さんに今後も農機具を安心してお使いいただくため、迅速な対応と確かな技術で応えたい。一人でも多くの『困った』を解決し、地域農業を支えたい」と力強く語られました。

農業機械課は今後もJAと連携し、地域農業発展と組合員の機械利用を支える力となれるよう、取り組んでまいります。



開会挨拶をする服部部会長



受賞者代表挨拶をする大沢さん

## 令和7年度JA長野県農業機械推進優秀者表彰者 ■優秀賞受賞者

| 支部 | 所 属           | 氏 名   |
|----|---------------|-------|
| 東信 | (株)オートパル佐久浅間  | 荻原 栄一 |
|    | (株)オートパル佐久浅間  | 佐藤 睦  |
|    | JA信州うえだ       | 倉沢 一晃 |
|    | (株)オートパル佐久浅間  | 大草 康雄 |
| 南信 | JA上伊那         | 富永 敏昭 |
|    | JA上伊那         | 伊藤 隼人 |
|    | JA上伊那         | 千野 泰孝 |
|    | JA上伊那         | 東金 利夫 |
|    | JA上伊那         | 唐澤 隆次 |
| 中信 | JA信州諏訪        | 木下 光  |
|    | JA信州諏訪        | 小尾 英夫 |
|    | JA松本ハイランド     | 渡邊 春貴 |
|    | JA大北          | 篠崎 裕史 |
|    | JA松本ハイランド     | 青柳 智彦 |
|    | JA信州諏訪        | 雨宮 照和 |
| 北信 | JAながの         | 大沢 強  |
|    | ジェイエイ・アップル(株) | 海野 修  |
|    | JAながの         | 牧 吉彦  |
|    | JAながの         | 小林 昭雄 |
|    | JAグリーン長野      | 井出 徹  |

## ■敢闘賞受賞者

| 支部 | 所 属           | 氏 名   |
|----|---------------|-------|
| 東信 | JA信州うえだ       | 大石 源人 |
|    | JA信州うえだ       | 丸山 悟史 |
| 南信 | JA上伊那         | 伊藤 一博 |
|    | (株)オートパルいいだ   | 山田 舜  |
| 中信 | JA信州諏訪        | 小林 竜平 |
|    | JAあづみ         | 小林 佑也 |
|    | JAあづみ         | 中村 寿陽 |
| 北信 | ジェイエイ・アップル(株) | 湯本 孝  |
|    | JAグリーン長野      | 玉井 克彦 |
|    | JAながの         | 坂口 良輔 |

## 畜産酪農課

## 第78回長野県畜産共進会（肉豚の部） ～JA松本ハイランドの(有)岩垂原エスピーエフ農場が特別優秀賞を受賞～

J A全農長野畜産酪農課は10月22日(水)、第78回長野県畜産共進会肉豚の部を松本市の(株)長野県食肉公社で開催しました。

審査には、県内の養豚農家から生後150日以上180日未満の肉豚枝肉12組24頭（雌1頭、去勢1頭/組）が出品され、松崎良一審査委員長（長野県畜産試験場長）をはじめ5名の審査員が、個体ごとの優秀性や組内の相似性などを厳正に審査しました。

今回は、2頭の枝肉重量差が審査基準の±5kg以内を超える出品も見られましたが、雌去勢とも全体的に斉一性が高く品質も優秀であり、養豚農家の飼養管理や出荷適齢期を見極める技術の高さがうかがえました。

特別優秀賞ならびに県知事賞に選ばれた(有)岩垂原エスピーエフ農場（JA松本ハイランド）の枝肉は、雌去勢ともに、モモの厚み、脂肪付着も均一で、全体的に体形が揃った優秀な枝肉でした。優秀賞は去勢の部と雌の部から個体ごとに審査しそれぞれ3頭が選ばれました。

今夏の豚肉相場は、全国的な頭数不足や輸入豚肉の不安定な入荷状況などの影響から過去最高値で推移

しました。一方、昨年同様、猛暑による豚の発育遅延も見られました。畜産を取り巻く環境は、飼料原料の国際的な高騰円安や原油高など様々な情勢が起因して生産コストの高止まりが続いています。また、生産者の高齢化や後継者不足、施設の老朽化、地域での環境対策など、多くの課題を抱えており、豚熱をはじめとする感染症対策の再徹底も重要です。

J Aグループでは生産コストの高騰に伴う価格転嫁への理解醸成活動と消費拡大を呼びかけています。全農長野畜産酪農課は、県内で生産される安全で安心なおいしい信州産肉豚の生産基盤を維持し、農家経営安定とより一層の品質向上、消費拡大に取り組んでまいります。



枝肉審査の様子



表彰式は審査会とは別日に開催

## 畜産酪農課・米穀課

## テレビ信州「キッズRUN!!2025」に協賛

J A全農長野畜産酪農課と米穀課は、10月19日(日)に長野運動公園陸上競技場で行われた「第35回テレビ信州キッズRUN!!2025」に協賛し、副賞と参加賞を提供しました。

この大会は「子どもたちに全県規模の大きな大会をきっかけに、将来アスリートとして活躍してもらいたい」という思いで始まり、駅伝やスケート、野球など各スポーツで活躍する選手を輩出しています。県内各地から566名の小学生が集まり、熱戦が繰り広げられました。

会場では参加賞として、畜産酪農課は「長野県産牛乳」を配布し、強風と寒さに負けずに走り終わった子どもたちが美味しく飲んでいました。米穀課は「新米長野コシヒカリ2合」を配布し、新米キャンペーンへの応募を呼びかけました。

また、1・2年生の部に特別協賛し副賞として、1位から3位の選手に「信州プレミアム牛肉と信州ポークのすき焼き・しゃぶしゃぶセット」、4位から8位の選手に「長野県産コシヒカリ新米2kg」と「信州プレミアム牛肉カレー・信州ポークカレーセット」を贈呈しました（＝表紙右上）。

畜産酪農課と米穀課は、信州の農畜産物に生産者の想いをのせて信州産ブランドをPRし、消費拡大に努めてまいります。

## 畜産酪農課

# 第78回長野県畜産共進会（種牛の部）

## ～農林水産省畜産局長賞にJA松本ハイランドの(有)高原牧場～



農林水産省畜産局長賞に選ばれた(有)高原牧場の「ぶりんせす」号牛

JA全農長野畜産酪農課は11月13日(木)、長野県内の和牛改良・飼養管理技術等を高めあうことを目的に「第78回長野県畜産共進会 種牛の部」を長野県中央家畜市場で開催しました。出品されたどの和牛も県下トップクラスの発育・改良が施されており、レベルの高い共進会となりました。

各級の特別賞には、1類/長野県上伊那農業高等学校（JA上伊那）の「じょうのうひめか」号牛、2類/田屋宗喜さん（JA木曽）の「ひめふく」号牛、3類/(有)高原牧場（JA松本ハイランド）の「ぶりんせす」号牛、4類/小山清志さん（JAみなみ信州）の「みゆき」号牛が選畜

されました。この特別優秀賞の中で最も優秀である和牛に贈られる農林水産省畜産局長賞に選ばれた第3類の(有)高原牧場の「ぶりんせす」号牛は、日頃の調教を含めたレベルの高さを評価されました。

この「種牛の部」は、2年ぶりの開催となり、令和9年8月26日(木)～8月30日(月)に北海道で開催を予定している第13回全国和牛能力共進会（別名/和牛オリンピック）へ向けた取り組みの一環ともなりました。全農長野としても和牛オリンピックに向け、長野県が優秀な成績を収められるよう関係団体・生産者と引き続き協力し、長野県内の和牛事業発展に尽力してまいります。

## 第78回長野県畜産共進会 種牛の部 入賞者

| 類                          | 賞     | 受賞者          | JA      | 受賞牛                     |
|----------------------------|-------|--------------|---------|-------------------------|
| 1類<br>(種雌牛育成後7ヵ月～14ヵ月未満)   | 特別優秀賞 | 長野県上伊那農業高等学校 | 上伊那     | じょうのうひめか (16215-3431-8) |
|                            | 優秀賞   | 古原 敬久        | 長野八ヶ岳   | きたみおみ (16868-3700-3)    |
| 2類<br>(種雌牛若雌生後14ヵ月～17ヵ月未満) | 特別優秀賞 | 田屋 宗喜        | 木 曾     | ひめふく (16816-1741-9)     |
|                            | 優秀賞   | 山寺 光昭        | 上伊那     | はなつる (16594-8208-7)     |
| 3類<br>(種雌牛若雌生後17ヵ月～20ヵ月未満) | 特別優秀賞 | (有)高原牧場      | 松本ハイランド | ぶりんせす (16903-2591-6)    |
|                            | 優秀賞   | 唐澤 春菜        | 木 曾     | げんりゅう935 (16938-0859-1) |
| 4類<br>(種雌牛成牛)              | 特別優秀賞 | 小山 清志        | みなみ信州   | みゆき (16264-1664-0)      |
|                            | 優秀賞   | 小林 和行        | 上伊那     | ひさみの (16563-0108-4)     |



牛乳ブース



長野米ブース

(野菜きのこ課)

## 「ナガノきのこ大祭」に出展

J A全農長野野菜きのこ課は10月11日(土)、信州の幸あんずホール(千曲市)で開催された「ナガノきのこ大祭2025」に出展し、きのこのPRを実施しました。

全農長野ブースはJ Aグリーン長野、J Aながの、(一社)長野県農村工業研究所と合同で設置し、きのこセットや白菜、旬の果物の販売、加工品(乾燥きのこ)の試食を行いました。

開催10年目のナガノきのこ大祭は、きのこを「見る」「食べる」「愛でる」+「知る」をテーマに、次世代の消費者である子どもたちを中心とした来場者に、きのこの魅力を再発見していただき消費を促すとともに「毎日きのこ50g!」の認知度向上を目的に開催されました。

会場ではきのこ業界の関係各社が独自のきのこPRや物販を行い、キャラクターショーや「きのこ総選挙」「山のきのこ鑑定」など、きのこ尽くしのイベントで終日賑わいました。



きのこセットの販売



きのこキャラクター大集合



きのこクイズに挑戦

(野菜きのこ課)

## 11月11日は「長野県きのこの日」 小学校で食育授業 ～20校できのこメニューも～



クイズを交えながらきのこについて学習



えのきたけとぶなしめじを収穫

J A全農長野野菜きのこ課は長野市第一学校給食センターと連携し、11月11日「長野県きのこの日」に合わせ、長野市内の小中学校で長野県産きのこを使った給食メニューを提供するとともに、きのこの魅力を伝える食育授業を行いました。

### 【食育授業】

長野市立真島小学校2年生10名を対象に、きのこの食育授業を行いました。全農長野の担当者が、長野県はきのこ生産量日本一であることを紹介し、クイズを交えながらきのこの種類や、普段見ることのない成育過程を説明しました。地元のJ Aグリーン長野より提供された、えのきたけとぶなしめじのもぎ取りも体験しました。児童は初めて目にするきのこの姿に興味津々で「きのこが生えているのを初めてみた」「収穫が楽しかった」と歓声を上げながら、採りたてのきのこに触れました。

その後、長野市第一学校給食センターから、きのこの豊富な栄養についての説明と、この日提供されるキノコを使った給食献立の解説があり、児童は食への関心を深めました。最後には全農長野のキャラクター「信州力」が登場し、和やかな雰囲気の中で授業が終了しました。

### 【給食メニュー】

長野市内の20の小中学校では、「きのこ豚肉のあんかけ丼の具」や「きのこ麻婆」など、県産きのこをたっぷり使った給食メニューが提供されました(児童・教員合計8,500食)。また、給食の時間を利用して「きのこの栄養紹介」や「えのきたけが出来るまで」といった動画の視聴もされています。

東京販売事務所

## 安曇野特産「サンふじ」のトップセールスを開催

安曇野市とＪＡあづみは10月31日(金)、東京都中央卸売市場・大田市場で、安曇野特産のリンゴ「サンふじ」のトップセールスを開催しました。会場となった東京青果(株)イベントコーナーには、この日が初売りとなった「サンふじ」を展示し、市場関係者の皆様に本年の出来栄をPRしました。

安曇野市の太田寛市長は、安曇野の素晴らしい環境で育った「サンふじ」を中心とする果実の魅力を市場関係者に向けて力強くアピールしました。

また、ＪＡあづみの宮澤清組合長は、前日の朝にサンふじの出発式を行ったことを紹介し、「夏場の高温など厳しい条件下であったが、味よし・着色良しのサンふじ



サンふじを手渡す宮澤組合長（中央）



（左から）宮澤組合長、東京青果(株)・川田社長、太田市長

に仕上がった。生産者も安全・安心でおいしいリンゴの生産に励み、皆様の期待に応えられるよう数量を確保しています。それに是非価格で応えていただきご支援賜りたい」と挨拶しました。

また、市場関係者の皆様にＪＡあづみより「サンふじ」２玉を配布し、大盛況のうちに終了となりました。

東京販売事務所では引き続き長野県産農産物の積極的なPRに努めてまいります。

総務広報課

## ＪＡあづみ×松本洋菜×松本山雅FC60周年 松本山雅FCホームゲームでイベント開催

ＪＡ全農長野は、ＪＡあづみ、松本洋菜、松本山雅FCそれぞれが60周年を迎えたことを記念し、11月16日(日)の松本山雅FCホームゲームでイベントを開催しました。

ＪＡあづみは60周年ロゴ入りサンふじを50名に、松本洋菜（事務局／全農長野中信事業所）はセルリーを50名にプレゼントし、その後ＪＡあづみ産サンふじの試食を行いました。プレゼントは開始の1時間以上前からサポーターが並び始め、15分で終了しました。また、サンふじの試食にサポーターは「もうサンふじが出たの?」「あづみのリンゴは美味しいよね」と言いながら手を伸ばしていました。

対戦チームFC大阪のサポーターにも入場ゲートで、サンふじ・名月・直売所ハイジの里のリーフレットのセットを配布しました。大阪から来たサポーターは思わぬお土産に「こんなにもらっていいの?」と言いながら笑顔で受け取っていました。

ピッチでは宮澤清組合長から松本山雅の小澤修一社長へロゴ入りサンふじを贈呈し、来場者抽選会プレゼントには全農長野から「あづみのコシヒカリ」2kgを10名に提供しました。

松本山雅FCのホームスタジアム「サンプロ アルウィン」は、10月2日に鉄骨部材が落下して使用ができず、松本山雅FCは試合ごとにスタジアムの移動を余儀なくされています。全農長野は厳しい状況の中でも県産農畜産物をととして松本山雅FCを応援し続けます。



サンふじとセルリーのプレゼントで賑わうブース



ＪＡあづみからのプレゼントを受け取るFC大阪のサポーター

(畜産酪農課・長野県農協直販株)

## 長野県農協直販株「佐久食肉工場」が開所

J A全農長野の子会社である長野県農協直販株は11月14日(金)、食肉の新たな供給拠点「佐久食肉工場」を佐久市長土呂に開所しました(=表紙右下)。

(株)長野県食肉公社の移転新設に絡み、隣接する長野県農協直販株松本食肉工場の老朽化で、食品安全・労働安全のリスクが高まっていたところ、事業者の撤退によりこの佐久食肉工場が空くという話があり、リスクヘッジの目的で取得協議を進めてきました。その後、移転新設断念が決まり、この佐久食肉工場は県産食肉の流通拠点としての機能も担うことになりました。



(左から) J A佐久浅間・茂木秀二常務、長野県農協直販株・平林務社長、佐久市・柳田清二市長、全農長野・高木昭彦副本部長、佐久市長土呂区・東城公人区長

工場は11月4日(火)から稼働しており、現在は1日当たり豚80頭、年間2万頭を処理する予定ですが、1年半後には同社松本食肉工場と同等の豚8万頭、牛1,800頭の処理を目指します。

開所式で同社の平林務社長は「高品質な食肉を安定的に県内に供給し続ける役割を果たしたい」と挨拶し、全農長野の高木昭彦副本部長は「と畜は県外にお願いできたとしても、その肉を長野の皆さんに届ける使命がある。苦渋の選択ではありましたがこの施設をそのまま利用できた点は良かった」と評価しました。

(くらし支援課・株長野エコーブサライ)

## 「虹の花束コンサート2025」開催

11月13日(木)に長野県松本文化会館、同19日(水)に長野県県民文化会館で虹のホールグループの8 J A\*主催による「虹の花束コンサート」を開催しました。当コンサートは、大切な人を亡くされたご遺族の皆様へ、音楽が少しでも心の癒しになることを願い、グリーフサポートの一環として開催。12回目となる今回は、昨年4月から今年3月までに J A 葬祭でご葬儀を執り行われたご遺族の皆様を招待し、松本会場483名、長野会場558名、合計1,041名の方にご来場いただきました。



プロによる心を込めた演奏

コンサートでは、演奏者の深沢雅美さん(ピアノ)、西澤春代さん(クラリネット)、小山弦太郎さん(サクソフォーン)、山内俊介さん(チェロ)の4名が、ベートーヴェンの「ピアノトリオ：街の歌」などクラシック音楽を中心として11曲を演奏。来場者からは、「素晴らしい音楽に心が癒されました」「曲が心に沁み、亡き人を思い涙が出ました」「素敵な時間が過ごせました」等のお言葉を数多くいただきました。

閉演後には、来場者に感謝の気持ちを込めてカーネーションをプレゼントし、大変喜んでいただきました。ご協力・ご協賛いただいた関係 J A・関係会社の皆様に感謝申し上げます。

\*主催8 J A J A長野八ヶ岳、J A信州諏訪(株)めぐりライフ信州諏訪)、J A木曽、J A松本ハイランド、J Aあづみ、J A大北、J Aグリーン長野、J Aながの

## JA全農長野の事業現況

令和7年度10月末総供給販売高実績表 (単位:百万円、%)

| 品目             | 区分 | 当年度実績          | 計画比        | 前年比        |
|----------------|----|----------------|------------|------------|
| 生産振興課          |    | 0              | —          | 2          |
| 野菜種苗センター       |    | 133            | 112        | 115        |
| <b>生産振興部計</b>  |    | <b>133</b>     | <b>112</b> | <b>111</b> |
| 米              | 穀  | 13,443         | 95         | 113        |
| 果実花き           |    | 36,121         | 93         | 92         |
| 野菜きのこ          |    | 57,623         | 94         | 94         |
| 営              | 業  | 10,667         | 91         | 97         |
| <b>生産販売部計</b>  |    | <b>117,854</b> | <b>93</b>  | <b>95</b>  |
| 農業資材           |    | 7,367          | 99         | 101        |
| 肥料農薬           |    | 4,580          | 112        | 110        |
| 農業機械           |    | 4,382          | 109        | 108        |
| 施設住宅           |    | 2,417          | 158        | 75         |
| <b>生産購買部計</b>  |    | <b>18,747</b>  | <b>110</b> | <b>100</b> |
| 畜産酪農           |    | 19,294         | 105        | 103        |
| 三岳牧場           |    | 154            | 79         | 87         |
| S P F繁殖センター    |    | 162            | 86         | 106        |
| 八ヶ岳牧場          |    | 179            | 96         | 95         |
| <b>畜産酪農部計</b>  |    | <b>19,788</b>  | <b>104</b> | <b>103</b> |
| 燃料・ホームエネルギー    |    | 13,641         | 106        | 96         |
| S S協同経営        |    | 4,346          | 112        | 96         |
| くらし支援          |    | 4,205          | 97         | 92         |
| <b>くらし支援部計</b> |    | <b>22,191</b>  | <b>105</b> | <b>95</b>  |
| <b>長野県本部計</b>  |    | <b>178,713</b> | <b>97</b>  | <b>97</b>  |

(内部販売高含む)

## 12月のラジオ番組表

| 放送日時              | 放送局        | 番組名                         | 出演    |
|-------------------|------------|-----------------------------|-------|
| 12/24(水)<br>11:50 | SBC<br>ラジオ | 坂ちゃんのずくせえぶりでい内<br>「暮らしの応援団」 | 畜産酪農課 |

グリーンレーダー  
X(旧ツイッター)はこちら



グリーンレーダー  
WEB版はこちら



信州にも、いよいよ冬將軍が到来する季節となりました。我が家の畑には、タマネギの苗だけが植えられている状態です。

タマネギ苗は、昨年までは10月下旬に植え付けていましたが、今年は10月に暖かい日や雨が多かったため、植え付け時期を11月上旬に遅らせました。植え付けが早すぎると「とう立ち」してしまい、逆に遅すぎると苗が寒さに耐えられず活着せずに越冬できないため、植え付け時期には毎年悩みます。

植え付けの2週間前までに堆肥を施し、土を深く耕した後、肥料を散布して畝立てを行いました。冬越し対策として地温を高め、凍害を軽減するために、JA資材店舗で購入したタマネギ用マルチを使用して栽培しています。昨年度は強風でマルチが剥がれてしまったため、今年はしっかりと土に固定しました。

苗の植え付け予定日が雨天だったため、合羽を着用してタマネギ苗を植え付けました。苗の植え付けは、深植えしすぎると生育が悪くなるため、割り箸で土に穴をあけ、深植えしすぎないように注意して植え付けました。植え付けの翌日も雨が続き、根腐れが心配でしたが、無事に根付いてくれました。12月中旬から下旬にかけて1回目の追肥を施し、2回目は2月末頃に行う予定です。タマネギ苗がこの厳しい冬を何とか乗り越え、元気に育ってくれることを願っています。

(丁)

## 今月のおすすめレシピ

### 3種キノコと鶏肉の トマトチーズせいろ蒸し



#### 【材料(1~2人分)】

ぶなしめじ……1/2株  
エリンギ……1本  
えのきたけ……1/2株  
鶏もも肉……200g  
シュレッドチーズ  
……30g  
パセリ……適量  
塩胡椒……少々

#### A

トマト缶詰……50g  
砂糖……小さじ2  
トマトケチャップ  
……大さじ3  
コンソメ……大さじ1/2  
塩胡椒……少々  
ローリエ……1枚

#### 【作り方】

- 1 ぶなしめじ、えのきたけは石づきを切り、ほぐす。エリンギは手でほぐす。パセリはみじん切りにする。鶏もも肉は食べやすい大きさに切り、塩胡椒をふる。
- 2 せいろにクッキングシートをしき、キノコ類、鶏もも肉を乗せたら、混ぜ合わせたA、シュレッドチーズをかけて20分蒸す。
- 3 2にパセリを散らす。



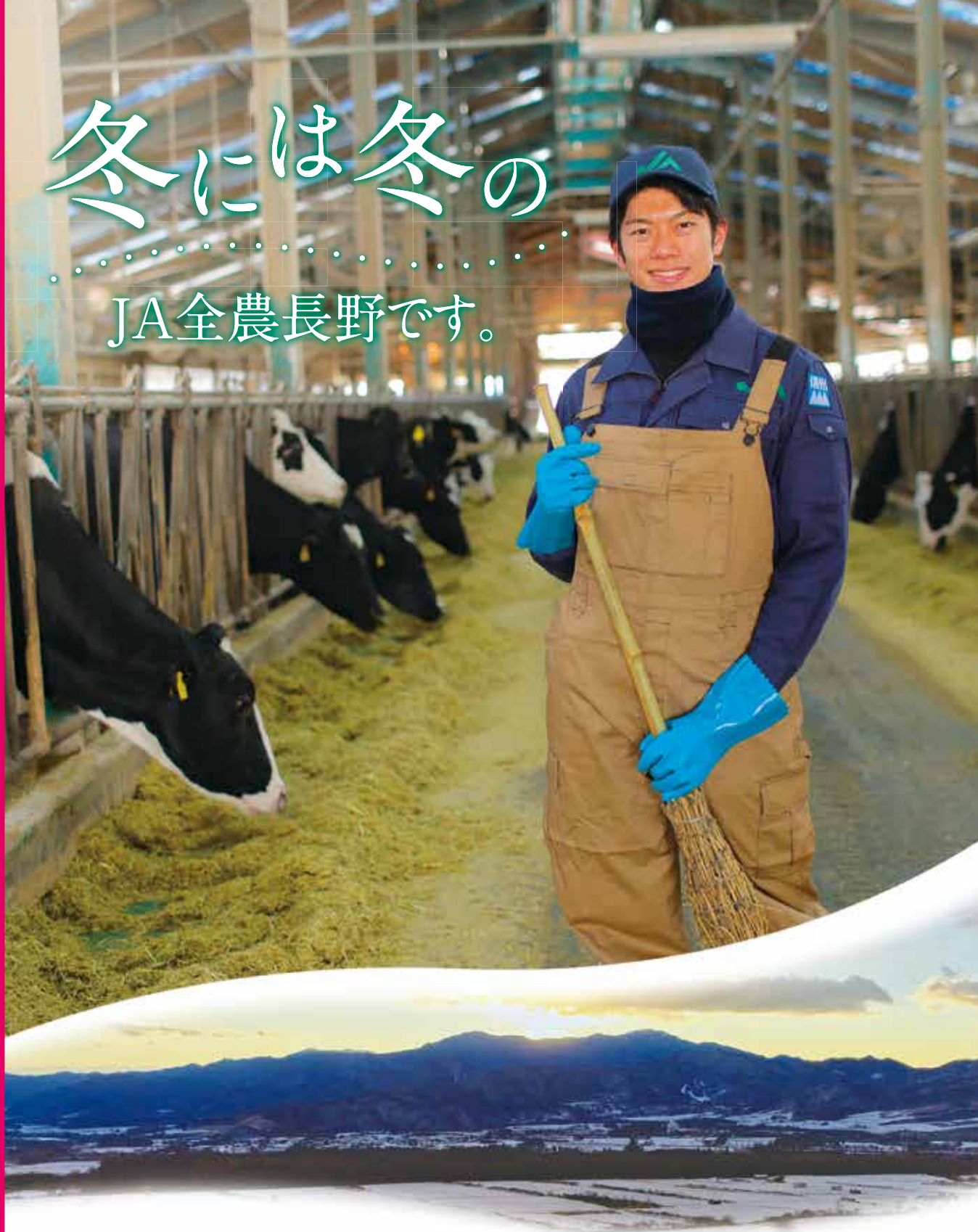
#### ポイント

3種キノコと鶏肉を使ったせいろ蒸し。トマトソースとチーズを乗せて蒸しあげます。

## 編集後記

# 冬には冬の

JA全農長野です。



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>  
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

